

# 記載例

あなたの申し立てる事件が60万円以下の金銭の支払を  
求めるもので、紛争の解決に小額訴訟手続を利用したい  
場合には、この□をレ点でチェックし、本年中に同じ裁  
判所においてあなたが小額訴訟による審理及び裁判を求  
めるのは今回で何回目なのかを空欄に書いてください。

## 訴 状

事件名 敷金返還請求事件

小額訴訟による審理及び裁判を求めます。本年、この裁判所において小額訴訟による審理及び  
裁判を求めるのは / 回目です。

訴状の作成日

〇〇 簡易裁判所 御 中 平成 16年 1月 5日

あなたに対して裁判所から  
書類を送る場合にどこに宛  
て送ってほしいか、希望す  
る場所(送達場所)の□をレ  
点でチェックして届け出た  
ください。以後あなたに対  
する書類はこの届出場所  
に宛ててお送りすること  
になります。

あなたの勤務先に書類を  
送ってほしい場合には、「勤  
務先」の□をレ点でチェ  
ックし、勤務先の名称と  
その住所を書いてくださ  
い。

あなたの住所でも勤務先  
でもない場所(例えば、あ  
なたのお父さんの家など)  
に書類を送ってほしい場  
合には、「その他の場所」  
の□をレ点でチェックし  
、「原告等との関係」の部  
分に「父の家」などとあ  
なたとその場所の関係を  
書き、その住所を書い  
てください。

あなたの住所、氏名、電  
話やファクシミリがある  
場合にはその番号を書  
き、氏名の横にあなた  
の認め印を押してくだ  
さい。原告(申立人)が  
会社であるときは、会  
社の所在地、会社名、  
代表者の氏名、電話  
やファクシミリがある  
場合にはその番号を書  
いた上、代表者印を押  
してください。

被告(相手方)の住所、  
氏名、電話やファクシ  
ミリの番号が分かっ  
ている場合にはその番  
号を書いてください。被  
告(相手方)が会社であ  
るときは、商業登記簿  
謄本又は登記事項証  
明書を見て、会社の所  
在地、会社名、代表者  
の氏名を書き、また、  
電話やファクシミリの  
番号が分かっている場  
合にはその番号を書  
いてください。

原告 (申立人)	〒〇〇〇-〇〇〇〇 住 所 (所在地) 〇〇果〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号												
	氏 名 (会社名・代表者名) 甲 野 太 郎												
送達場所等の届出	TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇												
	原告(申立人)に対する書類の送達は、次の場所に宛てて行ってください。 <input checked="" type="checkbox"/> 上記住所等 <input type="checkbox"/> 勤務先 名 称 〒 住 所 TEL - - <input type="checkbox"/> その他の場所(原告等との関係) 〒 住 所 TEL - -												
	<input type="checkbox"/> 原告(申立人)に対する書類の送達は、次の人に宛てて行ってください。 氏 名												
被告 (相手方)	〒〇〇〇-〇〇〇〇 住 所 (所在地) 〇〇果〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号												
	氏 名 (会社名・代表者名) 乙 山 二 郎												
	TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇												
	勤務先の名称及び住所 〇〇果〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇 株式会社 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇												
<table border="1"> <tr> <td>訴訟物の価額</td> <td>円</td> <td>取扱者</td> </tr> <tr> <td>貼用印紙額</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予納郵便切手</td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貼用印紙</td> <td colspan="2">裏面貼付のとおり</td> </tr> </table>		訴訟物の価額	円	取扱者	貼用印紙額	円		予納郵便切手	円		貼用印紙	裏面貼付のとおり	
訴訟物の価額	円	取扱者											
貼用印紙額	円												
予納郵便切手	円												
貼用印紙	裏面貼付のとおり												

上記の届出場所においてあ  
なたの代わりにあなた宛の  
書類を受け取るべき人(送  
達受取人)を届け出る場  
合には、この□をレ点で  
チェックし、その人の氏  
名を書いてください。こ  
の届出をすると、以後あ  
なたに対する書類は送達  
受取人に宛ててお送り  
することになります。

被告(相手方)の勤務先  
の名称や住所、電話番  
号が分かっている場合  
には、その範囲で書い  
てください。

この欄は、簡易裁判所  
の窓口でお尋ねくださ  
い。

遅延損害金の支払を求める場合には、この□をレ点でチェックし、いつからの遅延損害金の支払を求めるのかと、その利率を書いてください。

遅延損害金の支払を、明け渡した日の翌日から求める場合は上の□をレ点でチェックし、その日付を書いてください。被告(相手方)がこの訴状を受け取った日の翌日から求める場合は下の□をレ点でチェックしてください。

遅延損害金の率は、商取引による場合は年6パーセント、それ以外の場合は年5パーセントですが、特約があるときは、約束した率を書いてください。

この事件の判決が確定する前は判決の内容に基づいて強制執行をしたいときには、この□をレ点でチェックしてください。

敷金返還の時期や敷金から控除すべき金員など敷金の返還に関して特に約束したことがあれば書いてください。

賃貸借期間満了日や契約後の合意により決めた契約終了日、解約通知に記載された契約終了日など、賃貸借契約期間の最終日を書いてください。

あなたが実際に物件を明け渡した日を書いてください。

「請求の趣旨」とは、あなたが求める裁判のことです。

被告(相手方)に請求する金額を書いてください。

「訴訟費用」とは、申立手数料や裁判所を通じて被告(相手方)などに送った書類の郵便料金や証人に支払う旅費・日当などのことです(弁護士等の費用は含まれません)。

請求する敷金の根拠となっている賃貸借契約の内容について書いてください。賃貸借契約書がある場合は、その契約書に書いてあるとおりに記載してください。

被告(相手方)が敷金を支払わない理由など被告(相手方)の言い分や、この紛争について他に参考になることを書いてください。

ここに例示されているような証拠書類があれば該当する□をレ点でチェックし、その他の証拠書類があれば空欄の□をレ点でチェックして空欄にその書類の名称を記載し、その書類の写し(コピー)を2通作成して、訴状と一緒に提出してください。

請求の趣旨	1 被告は、原告に対して、次の金員を支払え。 金 219,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 上記金額に対する <input checked="" type="checkbox"/> 平成 15 年 1 月 11 日 から支払済みまで <input type="checkbox"/> 訴状送達の日翌日 年 5 パーセント の割合による金員 2 訴訟費用は、被告の負担とする。 との判決 (☑) 及び仮執行の宣言) を求めます。	敷金返還
	1 賃貸借契約の内容 原告は、被告との間で、(2)の物件について、次のとおり賃貸借契約を締結し、引渡しを受けた。 (1) 契約日 平成 12 年 3 月 25 日 (2) 賃借物件 所在 00 某 00 市 00 町 0 丁目 0 番 0 号 名称 (アパート名等) 及び棟室番号 00 アパート 20 号室 (3) 貸借期間 <input checked="" type="checkbox"/> 2 年 <input type="checkbox"/> 定めなし (4) 賃料 1 か月金 73,000 円 (平成 年 月 日から 1 か月金 円) (5) 交付した敷金の額 金 219,000 円 (6) 敷金返還についての約定 <input type="checkbox"/> 定めなし <input checked="" type="checkbox"/> 建物明渡しの 10 月後に返還する。 2 賃貸借契約終了日 平成 14 年 12 月 10 日 3 物件を明け渡した日 平成 14 年 12 月 10 日 その他の参考事項 被告は、敷金とリフォーム費用に充当したため、返すべき敷金はないと言って支払おうとしない。	
紛争の要点 (請求の原因)		
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 賃貸借契約書 <input type="checkbox"/> 登記簿謄本又は登記事項証明書 <input type="checkbox"/> 内容証明郵便 <input type="checkbox"/> 配達証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 敷金領収書 <input type="checkbox"/>	